

総合的な学習の時間・選択教科に役立つ

国際理解教育の手引き

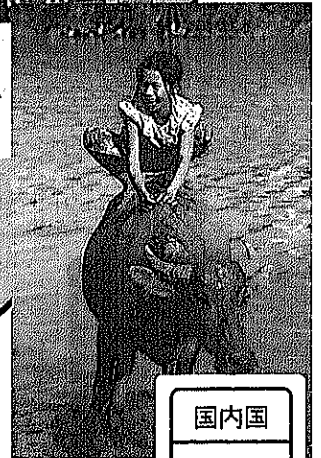
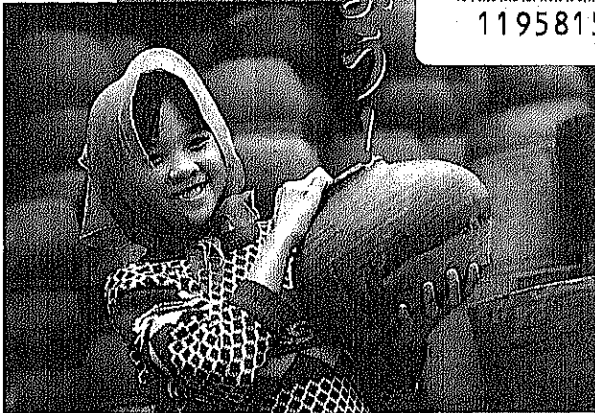
平成12年度高校教師海外研修に参加して

地球を眺に夢をみよう

JICA LIBRARY



1195815 [4]



国内国

J R

JICA

国際協力事業団

はじめに



国際協力事業団（JICA）は、政府開発援助（ODA）のうち「人づくり、国づくり、心のふれあい」を合い言葉に、研修員の受け入れ、専門家・青年海外協力隊の派遣などの「人を通じた国際協力」を中心に実施する特殊法人です。

日本は今では世界有数のODA供与国となりましたが、第2次世界大戦後しばらくの間は、諸外国の支援により復興を果たし、その後高度経済発展を遂げるに至りました。今の日本の繁栄も開発途上国をはじめとする他国との相互依存の上に成り立っています。現在、世界最大の援助国となった日本には、開発途上国のニーズに応え、世界の平和と発展に積極的に貢献していくことが求められており、人を通じた国づくりを支援しているJICAの責務はますます高まっています。

JICAは現在、国民の皆様にも私どもの活動に「理解、支援、参加」をいただくため、市民参加型の国際協力事業の推進とその一環としての開発教育支援に取り組んでいます。

全国の高等学校において、開発教育や国際理解教育に取り組んでいらっしゃる先生方や開発途上国の抱える問題に関心を抱いている先生方を対象に、開発途上国における経済、社会、教育の実情やJICAの実施する国際協力の現場視察を目的とした研修旅行を実施しています。今回の研修では、メキシコ12名、ケニア12名、タイ11名、合計35名の先生方に7月から8月にかけて約2週間の研修に参加していただき、開発途上国および国際協力に対する見聞を広めていただきました。

この度、研修に参加された先生方のご協力により、研修で得た経験にもとづいて行った授業実践例を冊子としてとりまとめました。この冊子が開発教育や国際理解教育に関心のある方の参考となり、今後導入される総合的な学習の時間の一助になれば幸いです。

平成13年3月

国際協力事業団

国内事業部長 今津 武

CONTENTS

はじめに

研修を年かした授業実践例

身近な地域（地域産業）と開発途上国との接点を探して 開発教育の視点から—自分の住んでいる町に誇りを—	高橋 康	4
高校教師海外研修、メキシココースに参加	町村 茂子	9
高校教師海外研修（ケニア）実践報告	岡野 英治	15
「国際協力」入門 ～課題研究テーマ設定への支援～	高山 里美	22
日本の国際協力について学ぶ	山口 薫	39
自主作成英語教材 “Thailand Through My Eyes”	榊原 美和	55
タイと日本・タイと沖縄 — 途上国の人々のために何ができるか —	與座 宏章	75

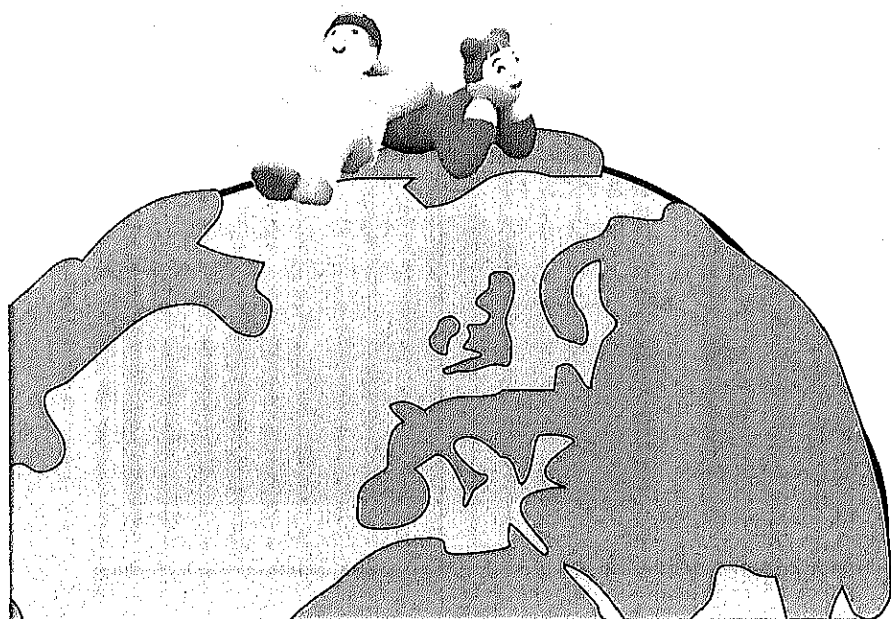
参考資料

募集概要	80
事前研修	80
東京研修日程	81
東京研修：開発教育ワークショップ	82
コース別日程／参加者氏名（メキシコ）	86
コース別日程／参加者氏名（ケニア）	88
コース別日程／参加者氏名（タイ）	90
訪問国概要	92
開発教育関係団体及び教材紹介	95
JICAはこんなこともしています	101
地域国際化協会一覧	102



1195815 [4]

研修を生かした 授業実践例





身近な地域（地域産業）と 開発途上国との接点を探して

開発教育の視点から—自分の住んでいる町に誇りを—

KOU TAKAHASHI

高橋 康

英語

北海道戸井高等学校

はじめに

私が、現在勤務している学校は、いわゆる田舎の学校である。生徒の何人かは、地元の産業である漁業に従事するか、札幌や東京などの大都市圏に就職する。また地域もそのような期待を学校に寄せている。

今回の東京での事前研修の中で、参加された多くの先生方が、受験指導等の、年間指導計画の中では、何かしら開発教育といった特定のテーマについて、長い期間にわたって継続的に取り組むのは困難だというお話があったが、本校では、他校に比べて、その実施は容易であるといえる。

教科の枠にとらわれずに、LHRなどの課外活動においても可能であるし、特に私の担当している英語では、その教科的性質上、他の教科に比べて開発教育の実践は容易であるといえる。そして、今回は3年生の選択教科であるライティング（3単位）の中で国際理解教育という枠組みの中で開発教育を実践した。

目 的

1) 本校は津軽海峡に面しており、その地域の特色は、漁業と良い。学校周辺には、水産加工場が点在している。生徒の多くは、第1次産業に従事することへの嫌悪感是否定できなく、後継者問題が非常に深刻な問題となっている。

またその他にも、田舎にある学校ということで、生徒の都市へのあこがれ、都市への劣等感なども大きく感じられる。（授業前にアンケート実施）
（資料1）

2) 国際社会について関心を持っている生徒も多数いるが、自分のふだんの生活との接点を見いだせないでいる。

問題意識

メキシコ合衆国における都市問題が深刻になってきたのは、1960年代からである。その根本原因は、人口増加に伴う都市化の進行で、都市と呼ばれるエリアが急速に、その近郊に広がりを見せてきたのもその時期と良い。

メキシコのみならず、開発途上国が抱えている最大の問題は、雇用機会、就業の場の確保であると考えられる。都市部門では農村部門で就業を確保すべき人口を、部門内で、第2次産業、第3次産業によって吸収しようと試みる。しかし現実には、都市部門だけで吸収されるだけの就業の機会が欠乏している。

一方、農村部門の状況を考えると、多くの人口が都市に流出したのは農村自体における問題とも考えられる。都市生活へのあこがれで、若年層を中心とした農村人口を流出させており、農村の衰退をさらに助長させている。

農村から都市に流出した人口は、都市部門においては、様々な生活の悪化を招いている。今回の研修でメキシコを視察したが、特に目立ったのは、その生活環境の悪さである。鉄道線路に沿った場所などに、多くのホームレスやストリートチルドレンの姿を見た。慢性的な交通渋滞によって、大気汚染や水質汚濁も生活環境の悪化の大きな原因となっていた。

4 実践の概要

- 1) 対象生徒…普通科3年（8名）
- 2) 実施科目…ライティング（4時間）
- 3) 展開

1時間目

- a) テーマ 「一枚の写真から」
- b) 1時間目のねらい

本時では4時限目の導入として位置づけ、生徒にメキシコのイメージを具体化させることを最大の目的とする。生徒にとって海外のこと、今回のメキシコなどはほとんど関心はなく、生徒のふだんの生活にも密着しているとはいえない。そこで写真を選ぶ時点では、物語を作りやすいような写真、生徒にとって身近な題材は何かということを最大の注意点とし、選択した。

- c) 授業の流れ

最初に、メキシコで撮影した写真の中から、生徒が各々1枚の写真を選択する。次に、その写真から想像をふくらませ、オリジナル物語を作成する。（注1）

- d) 題材

以下の写真①（農村）、写真②（農村）、写真③（都市）、写真④（都市）



写真①



写真③

2時間目

- a) テーマ 「暮らし—都市と農村—」
- b) 2時間目のねらい

本時では前時で各々が作った物語と「都市」「農村」が結びつくかを考えさせる。しかし都市＝便利、農村＝不便といった単純なものではなく、都市には都市の問題があり、農村には農村独自の問題がある。そのなかでどう調和のとれた開発が出来るかを考える。

- c) 授業の流れ

前時から、都市部門と農村部門、それぞれの共通項を導き出す。その上で、自分が生活するなら、都市と農村のどちらが良いか選択させ、2つのグループに分ける。次に都市グループと農村グループごとに、何が便利で、何が不便なのか、意見をまとめる。

- d) 話し合う内容

都市グループの話し合う内容

利点（便利な点） 不便な点（困っている点）

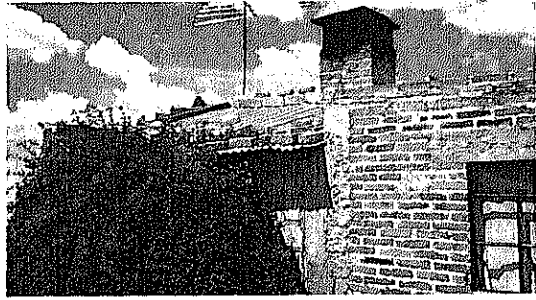
農村グループの話し合う内容

利点（便利な点） 不便な点（困っている点）

（注2）（資料2）

3時間目

- a) テーマ 「開発」



写真②



写真④

b) 3時間目のねらい

新たな角度から検討し、都市と農村が密接に関係していることに気づかせる。

c) 授業の流れ

「都市グループ」(前時) → 「地方グループ」(本時)、
「地方グループ」(前時) → 「都市グループ」(本時)
というように入れ換える。次に、前時で話されたもの
をもとにして、問題点を解決するためにどのような開
発を行うか内容を検討する。

d) 解決策

都市部門・農村部門における不便な点(困っている点)
それを受けて部門内だけで可能な解決策(アイデア)
を考える。(注3)(資料3)

4時間目

a) テーマ 「調和のとれた開発とは？」

b) 4時間目のねらい

「調和のとれた開発」の意味を自ら探し出そうとい
う態度を身につけさせたい。

c) 授業の流れ

都市グループ、農村グループごとに検討した結果を
まとめ、それぞれのプロジェクトを発表する。次に、
そのプロジェクトをグループ内だけで実施した場合、
問題点がないか、検討しまとめる。

(資料1)

- (情報通信科・普通科) 学年 番 氏名
- Q1.都市と農村では、どちらに住みたいですか？
(都市・農村)
- Q2.自分の通っている学校は田舎だと思いますか？
(はい・いいえ・わからない)
- Q3.Q1で自分が選んだ理由を教えてください？
()

(資料2)

(都市部門・農村部門)

便利な点	不便な点(困っている点)
・	・
・	・
・	・
・	・

(資料3)

(都市部門・農村部門)

不便な点(困っている点)	部門内だけで可能な解決策(アイデア)
・	・
・	・
・	・
・	・

(注1)

生徒が作った物語の一例

(農村の写真から)

- ・私は今村に住んでいる。電気はないし、夜になるととても寂しい。学校を卒業したら街に出かけて就職したい。お母さんは、街に行っても仕事はないといってるけど、行きたいんだ。
- ・住んでいるこの場所は、とても気に入っている。便利ではないところもあるけど街に行くと泥棒や危険がいっぱいだから行きたくない。この村最高！！

(都市の写真から)

- ・やっぱり都市は最高！遊ぶものや便利なものがたくさん。とっても刺激的。農村には行きたくない。車もないしおもしろいものもないからね。
- ・この街に住むのはもう疲れた。空気は汚いし、騒音もうるさい。ゆっくり寝れない。食べ物もたくさん市場にあるけどとても高くてイヤだ。

(以上抜粋)

所感：生徒は都市と農村の光と陰の部分に気づいてい
るようであった。

(注2)

グループ内の発表から

(都市部門)

便利な点	不便な点(困っている点)
<ul style="list-style-type: none"> ・バスがある。 ・食べ物がたくさんある。 ・警察がある。 ・外国の文化が入ってき て勉強しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・空気が悪い。 ・仕事がない。 ・ホームレスの人たちが 街にたくさんいてとて も雰囲気が悪い。 ・時間に気をつけて疲 れる。

(農村部門)

便利な点	不便な点(困っている点)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 空気がきれいだ。 ・ 食べ物が取り放題、食べ放題だから死なない。 ・ 治安がよい。 ・ ゆっくり生活できる。 ・ 家族が多くてとても楽しく生活できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事がない。 ・ 勉強するのが難しい。学校が遠い。 ・ 病院がなくて困っている。いざというときどうすればよいかわからない。

(以上抜粋)

所感：生徒は自分のことのようにその問題点を捉えようとしていた。

(注3)

生徒のまとめから

(都市部門)

不便な点(困っている点)	部門内だけで可能な解決策(アイデア)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 空気が悪い。 ・ 仕事がない。 ・ 治安が悪い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通規制などをして車を街から排除する。もしそれでもだめであれば、研究者を育てていく。外国の援助で施設も作っていく。 ・ 町に工場をたくさんつくっていく。(でもそうすればますます空気が悪くなってしまう。) ・ 警察の数を増やしていく。

(農村部門)

不便な点(困っている点)	部門内だけで可能な解決策(アイデア)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事がない。 ・ 学校がない。 ・ 病院がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 村に外国の工場を造る。家の手伝いをする。お母さんやお父さんの仕事もそうだ。村全員が少しでも働けるように1日を5つぐらいに区切って仕事をする。(パートタイム制) ・ 長い時間がかかるが学校の先生を育てる。村出身者の先生を村に呼び戻す。施設はなくても先生がいれば何とかなるはずだ。となり村と協力しよう。 ・ 学校と同様にしようがないが、けがをしないように注意をする。薬草を使う。病気になったらしようがない。

所感：生徒は自分のある限りの知識を使い真剣に解決策を探していた。

5 授業終了後の生徒の感想から

- ・ 日本の技術をもっともっと送りたい。(男子)
- ・ 僕たちとおなじ世代の子と話をしてみたい。(男子)
- ・ 困っている人たちの話を聞いてあげたい。(女子)
- ・ 子ども本部などを日本の援助で作って子供同士の交流をしたい。(男子)
- ・ 施設をたくさん作りたい。でも先生がいなくては意味がないかも知れない。(女子)
- ・ 手を握ってあげたい。(女子)
- ・ 日本にいても何かできることが必ずある。(男子)
- ・ 食べ物を粗末にしていた。でも日本にいて食べ物を粗末にしない事が、僕たちが出来る小さな協力ではないか。(男子)
- ・ わたしの父はマグロ船に乗っていてメキシコに行ったことがあると言っていた。(男子)
- ・ 技術って何かよくわからない。ただ自分に何も技術がないのが情けない。(男子)
- ・ 日本に欠けている何かがあるかも知れないと思った。(女子)
- ・ 機械も必要かも知れないけど、交流が一番大事だと思う。(男子)
- ・ 私は来年から漁師なるけど、何か自分のできることをメキシコにしていきたい。(男子)
- ・ 同じ時間を共有している人たちでこんなに苦労している人がいるとは思わなかった。(女子)

6 おわりに

今回の「開発」を扱った授業を振り返ってみると、生徒が私の普段の授業で見せている姿から、一変して、いきいきと活動していたのが印象深かった。授業では、生徒一人一人が、農村・都市の責任者として、各々の問題を積極的に解決しようとする態度を見せた。もちろん、その解決策には、現実味がなく、不十分で、夢のようなものもあったが、なかには、本校の生徒だからこそ考えついた大変ユニークな意見もあった。

そして、今回の授業を通して最もうれしかった事は、いわば遠く離れた外国、普段の自分の日常生活に何の接点もない人々の為に、真剣にそこに住む人になりきり、解決策を生徒が模索したことである。

先述したように本校は田舎の学校で、生徒の大部分は、何かしら都市に対して劣等感を持っている。それをふまえて、「開発」をテーマに行った今回の授業は、開発途上国の一つの側面を自分が住んでいる現実世界に置き換えて、その中で住んでいる良さを発見するきっかけとなったのではないかと考えている。

一方、最近の新聞報道などでは、教育荒廃が声だかに叫ばれ、少年による殺傷事件、主婦殺害、高速バス乗っ取り事件、金属バット殺人事件等が日本中を震撼させている。

そのような状況の中で、学校という一つの単位で、この「開発」といったテーマを扱うことは、生徒が無意識のうちに、「全体性」や「創造性」、「国際性」という、一見やっかいで、難しそうなテーマについて、

スムーズに授業に取り組み、それに対する問題意識を助長させたのではないかと考えている。

最後に今回の授業の反省であるが、3時限目の「生徒のまとめ」(注3)の内容についてである。不便な点(困っている点)を列記した後に、部門内だけで可能な解決策(アイデア)を生徒がまとめたわけであるが、詳しく吟味してみると、部門内だけのプロジェクトと限定したのであるが、その内容から、部門内だけで解決できないものもいくつかあった。例えば都市部門の外国援助、農村部門の外国の工場といったものがそうである。

そこから調和のとれた開発という考えを導き、全員で考え、何らかの案を出すところまで導きたかった。



高校教師海外研修、 メキシココースに参加

SHIGEKO MACHIMURA

町村 茂子

社会（地理）

桜蔭学園高等学校（東京都）

1 はじめに

私は、高校3年の授業に関しては、大学入試を念頭におかねばならないと同時に、中高6年間の社会科教育の完成として、18歳の青年として持つべき社会的見識を育てるという目標を持ってきたつもりである。例年この時期には、論述を含めた総合問題によって、現代世界の様々な問題を考える時間を設けてきた。今回は、研修の成果をもとに、メキシコを事例として国際協力のあり方を考えるという授業を行うことにした。

2 カリキュラム案

①実践の目的

地理の学習の総まとめの時期に入った高校3年生に、復習をかねたメキシコの事例研究をもとにして、国際理解と国際協力についての幅広い見識をもたせる。

②対象学年・授業

高校3年選択者44名・地理演習5時間+個別添削

③授業の構成案

時間	方法	資料・備前
1時間目	①メキシコについての既習知識の確認：自然環境、歴史、メキシコ革命、民族、経済の現状など	教科書・資料集 ・統計資料・自作プリント (別紙参照)
2時間目	②問題の認識：累積債務、貧富の差、環境問題、自然災害 ③問題の解析：人口急増、農村の疲弊、自然環境、アメリカの隣りという位置 ④課題の提示：重要語句の説明、問題の認識および解析に関する論述問題→次回提出	同上
3時間目	①課題の発表：教材提示機で生徒数人の課題を映し、コメントを加える。のち、全員提出。 ②国際協力の概況把握：ODA、NGOと日本 ③日本の対メキシコ協力の説明：自然災害対策：地域格差の是正、農業振興、環境対策、南南協力支援 ④課題の提示：「トウモロコシの多収量品種の導入に関する反対意見から考える国際協力」「アメリカにとってメキシコはどんな存在なのか」についての論述→次回提出	生徒の記述解答 JICAの資料 メキシコでの研修資料

4時間目	①課題の発表：教材提示機で生徒数人の課題を映し、これに対する生徒の意見を問う。のち全員提出。 ②総括：民族の文化と国際協力のあり方を生徒に問う。	生徒の記述解答 メキシコでの研修資料
5時間目	メキシコの文化を知ろう：トルティーヤの調理ののち、メキシコの写真、ビデオを見る。	メキシコで購入したトウモロコシ粉、ブレソサドル他 「メキシコ料理便利帖」

3 授業の詳細

1時間目

自作プリントを用いた。とくに首都の自然的位置が、都市問題を深刻なものにするメカニズムを認識させる。生徒は、旧湖底の堆積層の現物を写真①で見て、この地層の4分の1が水分である事を知り、大変驚いた様子であった。

2時間目

メキシコにはどんな問題点があるかを分析する。その際、歴史や自然的・社会的位置が、どのように関わっているかを考える。生徒は、貧富の差の激しさや、汚職の多さなどに、日本との違いを痛感したようである。発展途上国に共通な問題、メキシコにおける特徴的な問題それぞれについて論述課題を出した。

3時間目

提出された課題を教材提示機で画面に映して話し合った。既習事項も多かったので、よくまとまっていた。続いて日本の国際協力の概観をし、対メキシコ協力の内容説明をする。生徒は、南南協力への援助については知らず、大変感心したようであった。「豊かになってから援助するのではなく、少しでも相手に与えられることがあるならば、与える」という姿勢が個人にも国家にも必要なのだと話す。

4時間目

今回は、個人の考えを述べる課題であったため、さまざまな意見が出された。トウモロコシの話については、「品種にこだわるのも、相手の文化であるのだから、そ

こを損なわずに、その品種の収量拡大に協力する」「教育の普及によって、多収量品種の導入を分かってもらおう」「伝統品種の生産は維持し、商品作物生産によって現金収入を増やし、生活の向上に向ける」等という意見が出た。また「メキシコは、アメリカ合衆国の都合のよい倉庫であった。この国で民衆を助ける日本の協力が意義深いものを感じた」「アメリカ合衆国はメキシコにどのような援助をしているのか知りたい」という感想も寄せられた。日本だけでなく他の国の援助内容も授業に採り入れればよかったと反省した。

5時間目

授業の最後として、メキシコの文化や今回の研修旅行の内容をビデオや写真で紹介した。遠いと感じていたメキシコで、日本語を熱心に学ぶ人々の様子や、ポケモンやキティちゃんの人気ぶりを見て、生徒たちはメキシコに親近感を持ったようであった。トルティーヤの試食では、サルサソースに挑戦、「辛さにも色々ある」と楽しんでいた。

4 おわりに

写真に登場する養護の協力隊員は、日本での職を辞しての参加である。そのことに生徒は、大きなショックを受けたようであった。定年後の再就職を断ってメキシコにいらした農業技術指導員の方の、「自分の培ってきた技術や知識が、まだ役に立つところなら、どこへでも行きたい」という話に生徒は、感銘を受けたようであった。それぞれが今回紹介した事例を素直に受け止め、深く考えている様子であった。こうした価値観があることを彼女たちが知ったことが、今回の授業の一番の収穫であったかもしれない。

国際協力を考える —メキシコを事例として—

I メキシコに関する知識の整理

地形：新期造山帯の（1. 環太平洋）造山帯に属する山脈と盆地状の高原。火山・地震が多い。首都メキシコシティのある盆地の面積は約1900km²で東京・神奈川・千葉の3都県をあわせたほどの広さである。かつては盆地中央にテスココ湖があった。現在の都市はかつての湖底の堆積層上にあるため、地盤がゆるい。→写真①参照



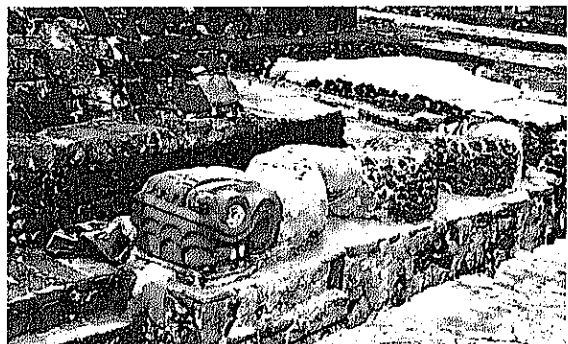
写真①旧テスココ湖底の堆積層。メキシコ市はこの軟弱な地層の上にある

気候：首都の標高を約2200mとすると、同緯度の海岸部が30℃のとき、首都の気温は、計算上（2. 18）℃となる。Aw気候→（3. CwまたはH）気候 盆地のため逆転層がしやすい。

略史：14世紀から栄えたインディオの（4. アスティカ）帝国は、16世紀スペインに滅ぼされる。スペイン人は（4）の首都テノチティランを破壊し、その上にスペイン風の都市（現メキシコシティ）を建設する。→写真②参照 都市はテスココ湖を干拓しつつ発展した。

1821年スペインより独立

1845～48年アメリカ合衆国と戦争（このとき失った領土：5. テキサス（1845）カリフォルニア（1848））



写真②旧大統領府の下から発見されたテンプロマヨールの遺跡

1910～1934 メキシコ革命（1929年以來2000年夏まで制度的革命党（略称6. PRI）の一党支配。現在の政権党は国民行動党（PAN）

◎改革の内容すなわち「革命の制度化」とはどのようなものであったか？

- ①独裁の禁止→大統領の再選が憲法で禁止される
- ②土地改革→一定面積以上の農地を政府が接収し、耕作権として農民に再分配する。インディオの土地制度（7. エヒード）を取り入れる
- ③ナショナリズム→外国人土地所有の制限。基盤産業（石油・鉄道・電力）国有化

経済：工業化以前：一次産品（（8. 原油）・銅・コーヒー・サイザル麻）の輸出が中心。

（9. 輸入代替型）型の工業化：世界恐慌以降、一次産品の価格低迷に伴って、経済悪化。軽工業製品から国内生産を進める。続いて重工業製品へ。

「メキシコの奇跡」：1940年～1970年まで、年平均6%の経済成長率

◎しかし、高度経済成長で問題は起きなかったか？

- ①裾野のない工業化→技術移転が済む前に重化学工業を進めたために、技術集積部門は、アメリカをはじめとする多国籍企業の傘下である。
- ②合理化の遅れ→保護政策によって外国製品との競争が避けられたために、国内の工業生産者の合理化、効率化、品質の向上が遅れる。
- ③農工格差→工業労働者の賃金を抑制するために、主要農作物の価格を低く抑えたため、農村は疲弊した。→都市への人口流入・アメリカへの出稼ぎ・不法入国

経済の現況：1994年1月アメリカ、カナダと北米自由貿易協定（略称10. NAFTA）

1994年4月ラテンアメリカで初めて経済協力開発機構（略称11. OECD）に加盟。

一方で、94年12月ペソ急落。対外累積債務920億ドル（98年末）

1980年代以降、アメリカへの不法入国者（12. ウェット

他のラテンアメリカ諸国と比べてみよう

(データブックオブザワールド2000など)

国名	人口 (万人)	1人当りの GNP(ドル)	平均識字 比率(%)	対GDP対外 債務(%)	対外債務 (億ドル)	民族構成(%)
メキシコ	9,640	3,700	24.7	3.40	920	メスチソ60、インディオ25、白人15
ブラジル	15,988	4,790	26.1	4.73	2,225	白人53、ムラート22、メスチソ12
チリ	1,462	4,820	15.4	1.17	268	メスチソ79、白人20
アルゼンチン	3,567	8,950	1.5	2.22	1,182	白人97
コスタリカ	346	2,680	21.6	1.18	35	白人95
ペルー	2,437	2,610	5.9	7.01	278	インディオ47、メスチソ40、白人12
アメリカ合衆国	26,790	29,080	2.8	0.72	13,225	白人83(うちヒスパニック11)、黒人13

数字は1998年のもの。対外債務は1998年末時点

バック)が増加、国境地域に保税制度(13. マキラドーラ)を適用する輸出加工区を建設。労働集約型の工場が立地する。

II メキシコの抱える問題点

● 極端な貧富の差:OECD加盟国でありながら、1日1ドル以下で暮らす人の比率が約1/2である。たとえばスリランカでは、1人当たりGNPが800ドル程度なのに対し、この比率は約1/3である。メキシコには相続税がなく、富めるものはさらに豊かになる構造である。メキシコを支配するのはわずか500家族といわれている。

工業重視の政策・人口急増→農村の疲弊→都市への人口集中→都市環境の悪化→アメリカへの出稼ぎ・不法移民

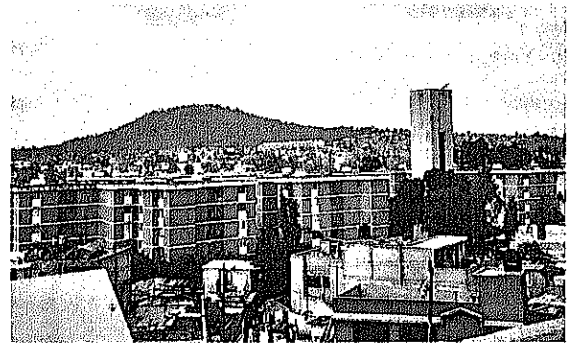
◎首都圏人口が約2000万人となり、どのような都市問題があるか？

大気汚染・慢性的交通渋滞・住宅不足・スラム→写真③・ゴミ処理問題・インフォーマルセクター・水不足および水質悪化・地盤沈下(100年で10m沈下)

これらの問題は、発展途上国の主要都市に共通の問題点であるが、特に大気汚染や地盤沈下は、メキシコの自然環境上の特性と相まってきわめて深刻である。

◎課題

1 語句説明：メスチソ、エヒード、高山気候、マキラ



写真③新しいアパート群とスラム。山の中腹まで住宅地化している

ドーラ、NAFTA

- 2 累積債務が、環境破壊につながる理由を述べよ。(90字)
- 3 メキシコにおける農村の疲弊の原因を述べよ。(60字)
- 4 メキシコシティで大気汚染が深刻となる理由を、この都市の自然環境の面から説明せよ。(120字)

III 日本の国際協力の現状

● 日本も援助を受けた：新幹線や高速道路、学校給食などは世界銀行やユニセフからの援助を受けてきたものである。

● 援助をした歴史：1954年コロンボプランへの参加を皮切りに、戦後の賠償を含めて、アジア各国を中心

に援助を始める。ODAには、無償資金協力・技術協力・円借款・国際機関への出資・拠出がある。

ODA総額では世界1位であるが、GNPに占める割合は、0.28%('98)で中位以下である。デンマークは0.99%、ノルウェーは0.91%である。

1954年	コロポプラン参加
1964年	OECD加盟
1965年	青年海外協力隊設立
1974年	国際協力事業団設立
1989年	ODA実績世界1位に

ODA（政府開発援助）とNGO（非政府組織）の違い

わが国の年間ODA拠出額はどのくらい？

- ①120億円 ②1,200億円 ③12,000億円

うち、無償資金協力の割合は？

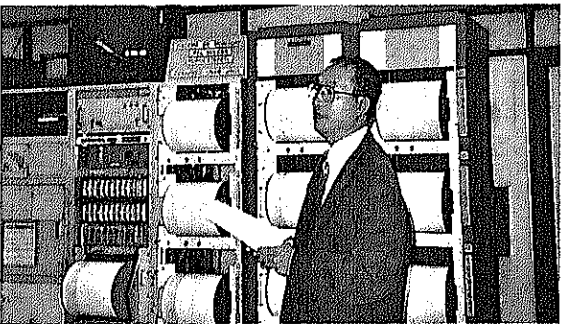
- ①50% ②30% ③15%

わが国のODA拠出先のうち、アジアの占める割合は？

- ①25% ②60% ③75%

IV 日本の対メキシコ協力

○自然災害対策：1985年のメキシコ大地震の後、国立防災センター（CENAPRED）の設立援助。現在も専門家を派遣し、研究の指導を行っている。→写真④



写真④国立防災センター、日本の機材供与でそえた地震計の前で、澤田専門家による説明

○地域格差の是正：出稼ぎの必要のない地域産業の育成、伝統産業の近代化を指導する。

○農業の振興：多国籍企業の農業労働者ではなく、自力の農業経営が可能な農家を増やすために、技術指導や啓蒙活動を行う。乾燥地域の緑化指導。→写真⑤

○環境対策：環境センターの設立援助。測定・分析資料の提供。専門家派遣。→写真⑥

○女性の教育 家族計画の普及：人口抑制と母子保健のための指導員派遣。

○日系社会支援：永住日系人や駐在員子弟、メキシコ人への日本語教育。→写真⑦

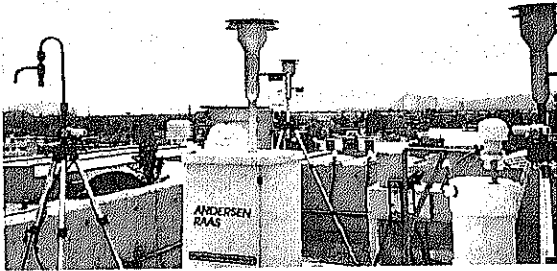
○教育テレビ制作：地方在住生徒のための通信教育システムの設立援助。→写真⑧



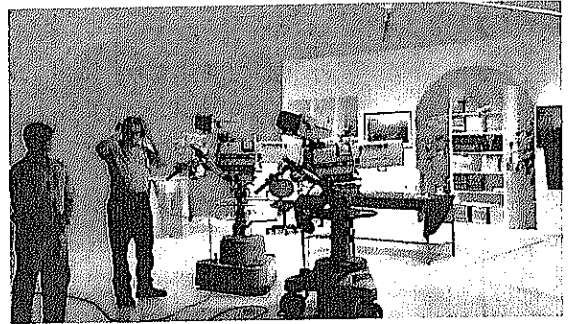
写真⑤-1 過かんがいによる土壌の塩性化を防ぐため、少量の水で植物を育てる点滴かんがい法。指先のチューブに小さな穴が開いて水がしみ出す



写真⑤-2穴の間隔は根元にあわせてある。鳥取大学の乾燥地研究所で開発された



写真⑥-1日本の機材供与でつけられた集じん機



写真⑥教育TV研修センターで中米の青年が教育番組作りの実習中。南南協力支援のひとつ



写真⑥-2車の末尾番号に対応した色つきステッカー。色によってシティに乗り入れられないノーカーデーがある



北海道の教員を辞職してイタルゴ州養護教諭をする荻野さん（左から2番目）



写真⑦日墨文化学院でもまもなく日本へ留学する小学校の先生方へ日本語を教えるボランティアの中村さん（中央）



メキシコ料理の試食会での桜蔭の生徒たち。中央の生徒が持つのはトルティーヤをのばすプレス機（プレサドール）

○南南協力支援：中米の先進国としてメキシコが、他の中米諸国へ技術援助するプロジェクトへの協力。メキシコを介して、日本の援助を効率よく波及させる目的。

◎課題：次回提出！

1「メキシコでは人口の6割が栄養失調と聞いたので、地方の村でトウモロコシの多収量品種を導入しようとしたら、昔からの品種のもの以外を食べるのはい

やだと拒否された。」という話を、日本人農業技術指導員にお聞きしました。この話を踏まえて、あなたが、メキシコに派遣されるとしたら、どのような協力をしていきたいか。考えを述べなさい。

2「かわいそうなメキシコ／神からはあまりに遠く／アメリカ合衆国からはかくも近い」メキシコで古くから伝わる言い回しですが、メキシコはアメリカにとってどんな存在であると思うか、今までの学習が

(2) 授業の展開

	学習内容	授業内容	留意点
導入	私の研修旅行に参加した動機	学生時代に青年海外協力隊への憧れ 失敗を恐れず何事にも挑戦することが大切	出欠の確認 生徒の健康状態
展開	先進国・発展途上国について	GNP（国民総生産）が高いというだけでは先進国とは言えない。物質的には恵まれていても心の面では決して豊かでない。豊かさのみを追求した為に日本人は大きな忘れ物をしたようである。	日本人の自殺 （資料2新聞の切り抜き） 我が国死亡原因 （ガン・脳卒中資料2のデータ）
	援助の必要性	開発途上国——世界の人口4/5を占める保健・医療・福祉・教育が充分でない＝経済格差 不衛生な生活環境や慢性的な栄養不良。 不十分な医療などのため感染症が原因で5歳未満の子供達が毎週25万人死んでいる。	ケニア平均寿命51歳 日本の平均寿命 （資料1新聞の切り抜き） 多産多死
	ケニアの概要	政治・経済・気候・食生活・教育・居住環境等の研修旅行報告。	研修旅行の写真を見せる。
整理	国際協力と我が国の課題	政府開発援助（ODA）世界第一位 世界保健機関（WHO）世界第二位 我が国は積極的援助を行っている。 （贈与・円借款・技術協力・機材供与等）	班別にどのような援助が必要か議論させ発表させる。

資料2 年齢別に見たサラリーマン世代男性の死因順位

年齢階級	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
	死因	割合(%)	死因	割合(%)	死因	割合(%)	死因	割合(%)	死因	割合(%)
総数	悪性新生物	33.6	心疾患	14.0	脳血管疾患	13.2	肺炎	8.5	不慮の事故	5.1
20~24	不慮の事故	44.1	自殺	23.8	悪性新生物	7.5	心疾患	7.2	その他の新生物	1.6
25~29	不慮の事故	29.1	自殺	29.0	悪性新生物	9.8	心疾患	9.4	脳血管疾患	2.8
30~34	自殺	27.2	不慮の事故	21.6	悪性新生物	13.5	心疾患	11.1	脳血管疾患	5.0
35~39	自殺	23.0	悪性新生物	18.2	不慮の事故	15.6	心疾患	13.2	脳血管疾患	7.6
40~44	悪性新生物	25.7	自殺	16.5	心疾患	12.6	不慮の事故	11.8	脳血管疾患	9.1
45~49	悪性新生物	32.6	心疾患	13.0	自殺	11.8	脳血管疾患	10.1	不慮の事故	8.8
50~54	悪性新生物	37.7	心疾患	12.9	脳血管疾患	10.2	自殺	9.4	不慮の事故	7.3
55~59	悪性新生物	42.6	心疾患	12.6	脳血管疾患	9.5	自殺	6.5	不慮の事故	6.3
60~64	悪性新生物	46.6	心疾患	12.7	脳血管疾患	10.0	不慮の事故	4.8	肝疾患	4.4

厚生省「自殺死亡統計」（'99年3月発表）より

自殺者 8000 最新

「30~50代」生活苦めだつ

昨年までの

自殺者数は、昨年までの約1.5倍に増加した。自殺者の年齢層は、30代から50代にシフトしている。自殺者の職業は、サラリーマンが最も多い。自殺者の死因は、心疾患が最も多い。自殺者の死因は、不慮の事故が最も多い。自殺者の死因は、悪性新生物が最も多い。自殺者の死因は、脳血管疾患が最も多い。自殺者の死因は、肺炎が最も多い。自殺者の死因は、その他の新生物が最も多い。

(中日新聞より)

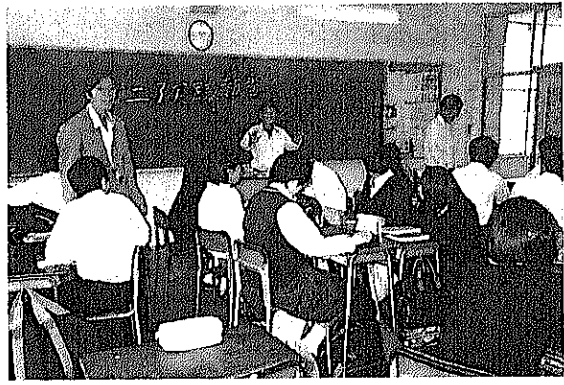


授業の様子

2時限目

(1) 授業の目標

- ・前時の復習をし、JICAで借りたビデオを視聴させる。「ケニア感染症研究対策プロジェクト」「舞台はアフリカ・青春賛歌」このビデオを観ることによって国際協力を身近に感じ、国民一人一人の理解と協力が何よりも大切であることを理解させる。
- ・国際協力事業団（JICA）の基本方針「人づくり、国づくり、心のふれあい」を理解させる。



授業

(2) 授業の展開

	学習内容	授業内容	留意点
導入	前時の復習	ケニアでのJICA事務所・医療技術強化計画感染症研究対策計画、青年海外協力隊のマクエニ理工数科教師活動・ケニア野生生物公社等の報告。	開発途上国の経験のある生徒がいれば聞いてみる。
展開	ケニア感染症研究対策プロジェクト 舞台はアフリカ・青春賛歌	ケニア中央医学研究所（KEMRI）への協力活動の概要を、活動報告を交えて具体的に紹介する。 さだまさしの歌「風に立つライオン」と本人の語りをバックに、ケニア、ザンビアで活動する日本人医師や青年海外協力隊員（獣医師、自動車整備、理数科教師、柔道）を紹介する。	
整理	開発途上国に理解できたか確認	心と心の触れ合いを大切にする人的援助が大切である。	生徒4、5人に感想を聞く

3時限目

(1) 授業の目標

- ・前時のビデオ視聴のケニア感染症対策から関連し、ケニアの人々の健康をおびやかすエイズ・感染症（マラリア・黄熱病）について学習させる。
- ・感染症の予防対策は感染源・感染経路・感受性者の

3本柱。

- ・国際化の時代をむかえ国際交流がさかんになった今日、新たな感染症が国内に持ち込まれることを予防する検疫の必要性。
- ・エイズは今日疾病予防活動上の緊急かつ世界的な重要課題であることを理解させる。

(2) 授業の展開

	学習内容	授業内容	留意点
導入	前時の復習 感染症ビデオの概略説明	開発途上国の死因は感染症が多いことを説明する。（エイズ・マラリア・黄熱病等）	
展開	エイズとはどんな病気が エイズの現状 エイズの予防対策	HIV＝ヒト免疫不全ウイルス→免疫機構を破壊→潜伏期 平均7年～10年→後天性免疫不全症候群 感染経路 ①性的接触②血液③母子感染 ・感染者の血液・精液・膣分泌液に多く含まれ、傷口や粘膜からの進入。空気・水・熱に弱い。	新聞切り抜き参考資料（資料3） エイズ予防について注意すべきことを生徒に発表させる。（資料4）

	設置内容	効果内容	留意点
展 開	感染症の予防対策	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の集団生活で感染することはない。 ・現在は輸血や血液製剤の安全性確保 ・感染源対策——感染源をみつけて病原体を消毒・殺菌する。 ・感染経路対策——感染経路を遮断して感染が広がることを防ぐ。 <ul style="list-style-type: none"> ①上下水道の整備（異国での生水・生物はさける） ②ハエ・ゴキブリ・蚊の駆除、発生防止 ③食品の加工・調理などの衛生の充実 ・感染者対策——予防接種などによって体の抵抗力を高める。 	
	感染症侵入の危険にさらされる日本の検疫体制	<ul style="list-style-type: none"> ・動物は予防接種や検疫を受けている可能性は少ない。 ・感染症の大半は空港での下痢や異常を訴えて判明。旅行シーズンになると綿密な検査が行いにくい、第2次感染を広める。 	
整 理	人権・平和	<ul style="list-style-type: none"> ・エイズによる差別・偏見のない社会づくりを認識する。 ・感染症予防対策にも国際保健活動が必要。 	ポスター参考資料

エイズ
途上国の子に最大の脅威

ユニセフ年次報告

栄養不良で発育阻害も増える

（中日新聞より）

資料3

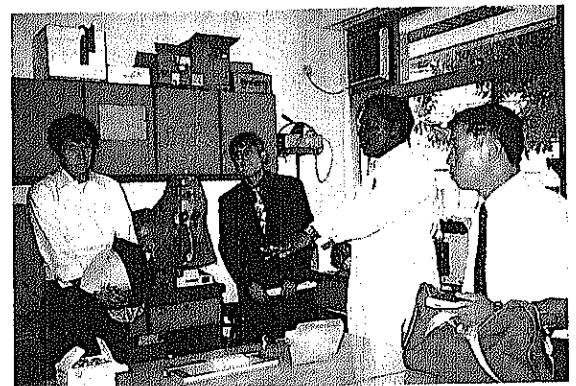


ケニアエイズ予防ポスター

（中日新聞より）



資料4



感染症研究対策

2 時限目

(1) 授業の目標

・ 我国の開発途上国に関する、援助活動の貢献は大き

いが、この役割は益々重要になってきている。財政面の援助だけでなく人的な面でも貢献する必要がある。
・ 感染症防止対策にも国際保健活動が必要である。

(2) 授業の展開

	学習内容	授業内容	留意点
導入	世界の人々の健康	開発途上国では病気を予防する技術は開発されているにもかかわらず子供達には届いていない。先進国では伝染病が蔓延することは少なくなったが、個人の生活習慣に起因することは少なくなったが、個人の生活習慣に起因する心臓病・高血圧・糖尿病が増えてきている。	保健に関する国際活動の必要性
展開	我が国の政府開発援助(ODA)、国際協力事業団(JICA)の説明	保健医療分野では、我が国の途上国に対する2国間協力は無償資金協力と技術協力とがある。無償資金協力は借入金とは違って、開発途上国に返済を求めずことなく資金を供与する。この資金によって病院、看護学校、水道などを整備している。 保健医療の技術協力は国際協力事業団(JICA)が実施している。技術協力には、途上国から研修員の受け入れ、専門家派遣、機材供与の三形態の協力がある。これらを統合して、事業計画の立案から実施、評価までを総合的に運営、実施する協力の形態をプロジェクト方式技術協力と呼ぶ。 JICAには1982年から、国際救急医療チーム(JMTDR)が組織されている。	保健・給水・食糧・住居・環境衛生・労働問題等が開発途上国の必要に応じて行われている。
展開	青年海外協力隊(JOCV)の現状	派遣中の国——— 59カ国 派遣した隊員—— 19,220名 派遣中の隊員—— 2,409名 派遣の職種——— 160種 職種 加工・保守操作・土木建設・保健衛生・教育文化・スポーツ等 「現地の人々と共に生活し共に働きながら途上国が必要としている国造り・人造り」に貢献、異文化の体験。	ビデオの復習
展開	国際協力の新たな問題点	直接の医療援助は、現地の人々を一時的には救うが、その援助がなくなれば再び元の状態に戻ってしまう。それよりむしろ、長期的には、自分たち自身の手で医療を行うことができ、健康を守ることのできる能力を持つ人々が育つことが必要である。経済的に優越している国民が必ずしも幸せであるとは限らない。ケニアの人々は目が澄んでいて、経済的に苦しくても人生を楽しんでいる。 我々日本人が忘れた「本当の生活と心」があるような気がした。国際協力とは、お互いが相手に与え合う場であると共に、相手から学び合う場である。	
整理		政府だけの問題でなく私たち一人一人が地球規模で世界をどう見るか、何が出来るかを真剣に考える。	班別に分け4、5人発表させる。



マクエニ理数科教師活動



マクエニ理数科教師活動ハイスクールにて

4 おわりに

生徒からのケニアのイメージは野生動物・内戦・飢餓・貧困・差別・不衛生といった回答が返ってきた。ネガティブなものは①いつも暑いので上半身は裸でのんびり暮らしている、②農業技術を真剣に学ぶ気がないので飢饉に苦しんでいる、③子供の数が多いため食糧が不足している。

この授業を終えて私自身振り返ってみると、今回の研修は、JICAの基本方針「人作り、国作り、心のふれあい」を、まさに目の当たりにし、この上もない勉強をさせていただいた。私が小学校低学年の頃、アメリカから配給されたパンやとても匂いがきつい粉ミルクが出る給食時間がいやであった。当時の日本は、クラスで車をもっている家庭は1名程、銭湯の帰りには電気屋のテレビを人だかりしてプロレス・プロ野球を見ているのを思い出した。高度経済成長を成し遂げた日本は途上国の援助に貢献をし、豊かな人材を育ててこそ真の国際平和となり、日本の安全繁栄に結びつくことが確信できる視察旅行であった。

途上国に品物、食糧を与えても輸送・道路・人夫・多くの失業者等を考えれば、どこまで届くか解らない。ただ援助するのではなく、自立への援助を行い、支援者達が去った後でも地元の人達が自力で運営していくことが重要な課題である（例えば米を送るよりも米の栽培を一緒になって指導する）。失業者対策の為にも効果的な自立支援の道は農作物の栽培。それによるトラック輸送・トラック農機具の整備・水路・井戸・電気・道路整備等多方面の支援が必要であり、定着までの支

援活動はいつまで続くのだろうかと思った。

青年海外協力隊の支援活動を視察し、学校はバラック小屋の教室で古い黒板、古い机椅子、電気は通ってなく教育施設も充実していない。しかし、生徒達は屈託のない笑顔で我々を受け入れ、私も思わず笑みがこぼれた。「子供は本能的に学ぼうとしている。学ぶ楽しさを教えるのが教師の役目」と、改めて隊員達から教えられた。

隊員達の活動を見ていて若いころの冒険が、自分の血と肉とエネルギーになると実感した。失敗したとしても自分が挑戦したことがプラスになり失敗してもやり直せばいい。それができるのは年齢と体力を持っていないかと思ったが、私自身定年になり体力気力が充実していればシニア海外ボランティアに挑戦したいのが現在の心境である。

貧しくて学校にも行けず、病気の知識を持たない人は病気であることも、検査や手術があることも知らず病気を発見したときには手遅れで激しい痛みや脱力感で苦しみながら食事もとれず、辛い状況の中で死んで行く。貧しいがゆえに感染症を許してしまい働けなくなって家計にのしかかり、家族はいつそう貧しさへと押しやられる。

病気の予防や早期発見・心身ともに健康な人間になるためにも、少なくとも小中学校（8年）までは義務教育にし、授業料・教科書を無償にし、教育施設の充実を図らなければならない。

現在エイズは、全世界の感染者3430万人のうち15歳から24歳の若者が1030万人と三分の一を占め、アフリカではすべての病気の中でもエイズが最大の死因

となり、1040万人エイズ孤児（15歳以下）の大部分がアフリカの子供だと言う。国家上げてのエイズ対策を熱望する。

日本は中流意識が強く、貧困と言う言葉をめったに聞くことはない。貧困とは一般的に医療サービスや衣食住、教育などが得られない生活状態を言う。しかし日本の現状を見ると、確かに衣食住・医療は満足しているかも知れないが、リストラ・倒産・交通事故・教育の荒廃・自殺者の急増・保険金殺人・高校生の殺人等暗い問題も多い。この視察旅行で、裕福だけが幸福でな

いと痛感した。

豊かに生きるということは、一日一日を大切に「朝に希望、夕に感謝」しながら規則正しい生活をしてこそ意義がある。治安が悪いのも、失業者が多いからであろう。政府は早急に失業者対策を考えていただきたい。

以上の内容を真剣に訴えたつもりである。教え子が青年海外協力隊員として開発途上国に参加し、国民と国民を結ぶ友好の架け橋となってくれば、どんなに嬉しいことかと思う。



「国際協力」入門

～課題研究テーマ設定への支援～

SATOMI TAKAYAMA

高山 里美

国語

岐阜県立土岐紅陵高等学校

実践の目的

①本校の「課題研究」指導の概要

3年次2単位で実施する総合学科原則履修科目「課題研究」の指導において、本校では、研究テーマを生徒の自由設定としている。そのため、2年次に「総合的学習の時間」を利用して研究の準備を始め、仮テーマによる夏休みミニ研究を行い、2年次末までに課題研究テーマを決定し研究計画を作成させている。

②2年次指導の手順

- 5月 全体ガイダンスで「課題研究」の説明
- 6月 仮テーマを設定
- 7月 各自、仮テーマに沿った夏休み中のミニ研究の計画作成

該当教科による相談指導

- 8月 ミニ研究実施、「課題研究」テーマの検討
- 9月 ミニ研究クラス報告会
- 11月 課題研究テーマ決定、年間計画を立てる
- 12月 該当教科による指導を経てテーマ・年間計画の確定

この部分で
支援・指導

この実践1では、6月の段階で「国際協力」「ボランティア」を研究テーマに考えている生徒3名の研究テーマの設定、研究計画立案を支援した。なお、指導場面は、正規の授業時間以外に、放課後・休日の活動も含めている。

授業の構成案

時間・テーマ・内容	指導内容	指導資料
第1回指導 (7/19) 該当教科の相談指導	面談。JICAのサーモンキャンペーンを紹介。申し込み。	JICAパンフレット
第2回指導 (8/2) インタビュー 国際協力の現場で働く人々の実際を知る	青年海外協力隊OBの体験談を聞かせる。名古屋の国際センターへ出かけてお話を聞く。3人の生徒の将来の希望や関心から、フィリピンで保健活動をされていた方を講師にお願いした。	インタビューシート JOCV隊員OBによる資料 写真など
第3回指導 (8/20) ミニ課題研究まとめの作成	3名の中の新聞部員である生徒1名に私(高山)のケニアの研修について取材させ、協力隊員へのインタビューと併せて新聞形式でまとめるようアドバイス。3名ともクラス報告会に備えて、原稿と発表用資料づくりにはいる。	ミニ研究日誌 ミニ研究報告用紙
第4回指導 (9/1) 新聞記事の添削指導	レイアウトのアドバイス。新聞の1面には先のフィリピンについての取材記事、2面にはケニアの生活についての記事載せることにした。	

時期	内容	成果
第5回指導 (9/12) クラス報告会 (写真1)	ミニ研究報告会の当日に合わせて、全校生徒に「新聞」を配布した。 報告会では、研究の内容を説明し、今後の方針（国際協力を本研究テーマに進める）を発表した。	発表表紙 相互評価用紙
韓国修学旅行 10/24から4日間	出発前には日韓関係を中心にアジアの歴史を学んでいる。旅行では板門店を見学、民族分断の悲劇と緊張感あふれる軍事境界線の様子を実感した。また、ソウル市内班別研修では現地学生ガイドと共に市内を見学し、生活の一端に触れた。	
第6回指導 (11/3) 名古屋NGOセンター主催 の「国際協力市民講座」	「貿易ゲーム」を体験し、国際社会での貧困国と富裕な先進国の在りようを考えさせた。	「貿易ゲーム」
第7回指導 文化祭 (11/8) 新聞部展示・バザー活動 資料収集	新聞部は、例年文化祭でテーマ展示を行っているが、今年は「アフリカ」を取り上げ、「感染症」を中心に調査。ユニセフのカードバザーによる募金を行った。	ユニセフ資料、その他図書、新聞資料、ユニセフカードバザーキット
第8回指導 (11/18) テーマ決定・年間研究計画 作成	国際協力をテーマに来年度の研究計画を作成中。「医療」分野の国際協力活動を中心テーマに絞った。	

6 課題研究の詳細

2年次生徒3名の「国際協力活動について知りたい」という漠然とした興味を、3年次「課題研究」の調査研究予定テーマとして深めさせるため、まず経験者に話を聞くことをミニ研究（2年次夏休み課題）にするようアドバイスした。「課題研究」の指導では、学校外にも指導者を求めていくことを奨励しており、生徒もそれに応えて種々の施設や機関に見学や調査、質問のために出かけている。

今回のような場合は人選に困るものであるが、JICAのサーモンキャンペーンでは、活動分野を指定した講師を紹介して頂けるとのことであったので、早速、本人たちの希望により「医療・保健」分野での講師派遣を依頼した。

総合学科である本校では1年次に「体験学習」として種々の事業所へ出かけて職業体験をしている。そのときに行う「職業人インタビュー」の手法により、その仕事に就くまでの経緯、苦勞、喜びを聞き出せた。

また、レポートの形として新聞形式を提案した。これには3名の生徒だけの学習にとどめず、全校へ配布し、知識の共有をはかる意図もあった。この新聞は大

変よく読まれたようで、他学年の生徒から私へも「ケニアの話を知りたい」などの反応がかなりあった。ミニ研究自体も、クラス報告会で他の生徒の称賛を浴びた。

「貿易ゲーム」は、発展途上国や先進国、資源のある国、ない国、技術のある国、ない国、多国籍企業、NGO団体などの設定で貿易をするシュミレーションゲームである。貧困国が貧困から脱出することの困難さが、先進国や多国籍企業の理不尽な収奪に怒ったりしながら理解できるという大変おもしろいプログラムである。今回、生徒と一緒に参加体験させてもらったが、ぜひ国際理解の授業に取り入れてみたいと思った。

この間2年次生は全員韓国へ修学旅行に出かけた。

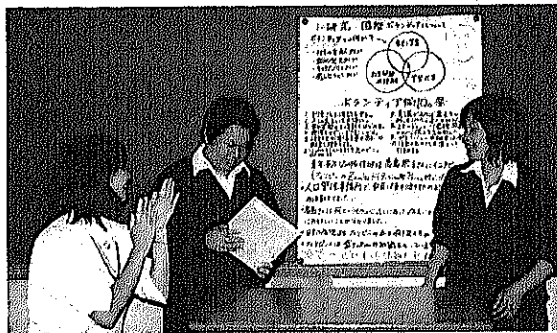


写真1 ミニ研究クラス報告会青年海外協力隊OBにインタビューしてきたことを交えて発表している生徒。

私も引率者として参加し、つい最近被援助国を“卒業”して援助国になった韓国がKOICAという組織を作っているなどという話をすると、生徒らは眼前のソウルのビル群と対照的な屋台やバラックのような家並みを、改めて見つめなおした。

授業実践の詳細

「わたしはひろがる～心にケニアの子どもが住みついた授業を～」

- (1) 実践教科 日本とアジア (国際理解系列3年次選択科目) 科目担当者 (地歴・公民科) とのチーム・ティーチング
- (2) 対象生徒・学年 総合学科3年次生
対象人数 2講座65名
- (3) カリキュラム案
- (4) 授業の構成案 総時間数：3時限

時限・テーマ (教材)	方法・内容	使用教材
事前 ケニアやアフリカへの興味	実践第1部で生徒が作成したミニ研究の「新聞」を配布し、目を通す。	
1時限 (写真2) ケニアで見てきたこと ～ケニアクイズで BINGO～ ケニア (アフリカ) の概要を知る	クイズに答える中で、ケニアに関する知識、アフリカの社会の様子について知る。内容は自然、地理、歴史、風俗、政治体制、経済、日々の暮らし、子どもの様子、中・高生の様子、被援助国としての問題点など。BGMにアフリカの曲を使用して雰囲気作り。	「ケニアクイズ」 BINGOカード ケニアの土産品・収集品 (現地の新聞・通貨・マサイ族の衣裳・地図・アフリカの人気バンドのCD)
2時限 (写真3) 貧しさはどこから？ ～「貧困の環」で考える～ 発展途上国が置かれている 困難な状況を理解する	ユニセフ作成の「貧困の環」を使った学習で、貧困が貧困を呼ぶ悪循環を理解する。また、国際協力が短期的・長期的に、その環を断ち切るねらいで行われていることを知る。	「貧困カード」と「対策カード」 「貧困の環用紙」、プリント資料
3時限 私はひろがる ～日本と世界の食糧・水・ 教育・医療を考える～	岸武雄の詩「わたしはひろがる」を紹介。さらに資料を読んで、一番興味を持ったテーマを選び、自由に意見や感想を書く。	プリント資料①～⑦
今後の授業での講演予定	短大講師「アジアの社会について」 孤児院設立支援者「バングラディッシュの子どもたちからのメッセージ」 学校設立支援者「ネパールについて」 青年海外協力隊OB「JOCVの活動からアジアの国々について」	

(5) 実践の目的

国際理解系列の科目の一環として、外国事情、特にアジアに目を向けた内容で授業を行っている。実践1で指導した「新聞」を読んだ3年次生からアフリカの話を知りたいという声があがり、アフリカで見てきた人々の生活ぶりに絡めて、アジアの国々にも共通する発展途上国の実状を紹介することにした。「日本とアジア」では、この実践のあとで、さまざまな国際活動を行っている方々を講師とする講演授業が行われる計画であり、その前置きの意味合いもある。最後に作文を課すが、アフリカだけの問題とするのではなく、国際社会の中での国と国との関係や、自分自身が日本人として生きるスタイルにまで言及できると良いと考えた。



写真2 ケニアクイズで知るアフリカの現実

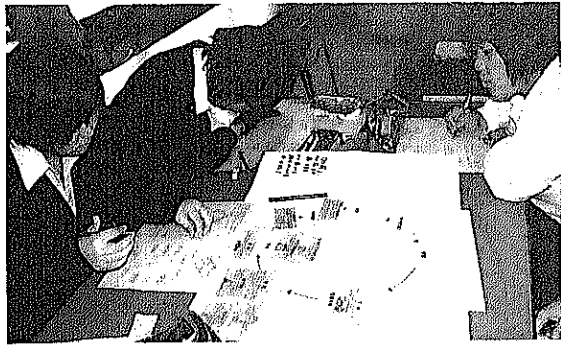


写真3 「貧困の環」を作って考える

(6) 内容

実践1での新聞発行もあり、私の「ケニア研修」は全校生徒の知るところとなった。全校集会でケニアの話と、という提案もあったが、もう少し人数を絞った状態で話したいと考えたので、自分の国語の授業か、または国際理解系列の選択科目で実施する方向を探った。幸い、科目「日本とアジア」の担当者から授業で話すチャンスを提供して頂き、たまたま私の「国語表現」の授業の選択者が全員「日本とアジア」を選択していたこともあり、2講座をやりくりしての合併授業が実現した。そこで、「国語表現」の授業要素も取り入れた内容を考えた。

3時間の授業の第1限はケニアクイズBINGO。自分自身があまりにもアフリカの現実について無知でいたことを感じたので、とにかくそれを話したく、ケニアで収集した写真を提示しながら話すことを考えたが、単調に流した話よりポイントを絞ったクイズにした方が伝えたいことが印象的になると考えたためである。また、ケニアの紹介をするうちに、どうしても貧しさや困難な状況を話題にせねばならないと思ったが、生徒に暗い印象だけを持たせるのも避けたいと考えた。

そこで、Microsoft Power Point を利用して、3択から5択のクイズ画面を作り、クイズの背景や間に適宜写真を入れて理解を助けた。授業ではBINGOゲームで楽しんだ。賞品にはケニアで購入したガムやキャンデー、ビーズのネックレス、絵はがきなど、ささやかな土産品を提供した。生徒は「アフリカについてすごく誤解していたことがわかった。」「楽しく理解できた。」「(キャンデーは)アフリカの味がした。」と好評で、遠い国であったアフリカに親近感を持ったという感想が多くあった。

第2限は「貧困の環」。貧困につながる要因を因果関係によって並べると、循環する環になるというもので、ユニセフの作成したプログラムである。グループごとに話し合いながら並べていき、代表が自分たちの考えを発表・説明した。また、どこでその環を断ち切るかという質問には、「お金持ちの国に食糧援助や、募金をしてもらおう」というグループと、「教育に力を入れる」というグループに二分したのが興味深かった。

第3限は「意見・感想」。最初に岸武雄の詩「わたしはひろがる」を朗読。

プリント資料として、(参考資料①～⑦P35～38)

- ①KEMRIの杉浦氏の話から、ケニアの感染症対策の様子を書き留めたもの
- ②'00.9.6朝日新聞 製薬業者が握る特許使用料の問題の記事
- ③'00.8.28岐阜新聞 水不足を伝える共同通信記事
- ④「国際協力」'00.09月号 特集60億の食糧事情
- ⑤「国際協力」'99.10月号 世界の学校から(from KENYA)
- ⑥「世界の動き」'00.9月号 世界の国シリーズ(ケニア共和国)
- ⑦ODAの基本事項の説明

を配布し、医療・水・食糧・学校の4テーマから関心のあるもの1つ選んで資料を読み、意見や感想を書くよう求めた。

ここに来て作文嫌いの生徒は、「結局やっぱり固い授業だ。」と不平をならしたが、とにかく感想から書き始めた。本校総合学科の6系列を考えて設定した4テーマであったが、「食糧」が一番多く選ばれた。やはり、アフリカというと、飢餓に苦しむ子どもの映像

などがかなりインパクトを持って受け止められているのだろうと感じた。次いで「学校」。自分たちの学習態度を反省するものが多くあった。同世代の高校生の生活をもっと詳しく知りたいという感想もあった。しかし、どれもまだまだ資料が未消化な状態で、各1時間を倍の2時間連続の6時間で実施すると良いのではないかと思われた。臨時の授業としてあまり無理も言えないのが残念であった。しかし、今後予定されているさまざまな講師の講演を聞いていく上で、途上国の

話を受け入れ理解する下地づくりには一役買うことができたのではないかと思う。これからさらにさまざまな学習をして考えを深めていってくれればと願っている。

また、文化祭のユニセフカード・バザーでは、2時間ほどの間に100枚を売り上げ、本校のこの種の募金活動としてはかなりの協力があつた。何人かの生徒の心にケニアやアフリカ、アジアの子どもが住みついたのではないかと思う。また、将来、地球全体の幸福を願う何らかの行動に結びついていくことがあれば幸いである。

参 考

ケニアクイズBINGOカード

1から25までの数字を、ばらばらに書き込んでください。

準備ができたら始めましょう。正解した問題の番号に赤丸を。5つ並んだ人から「ビンゴ！」

年 組 番 ()

最後に今日の感想を。ケニアについて興味深く思ったことがありましたか？

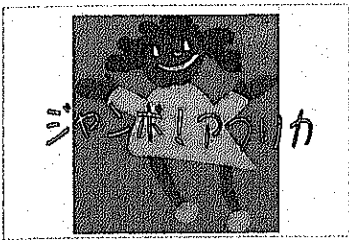
★正解がわかったらメモしてね。

- 1 赤道は英語で何と言う？
- 2 ケニアの首都は？
- 3 平均気温は？
- 4 ケニアで1番高い山は？
- 5 グレートリフトバレーの標高差は、最大で？
- 6 ケニアの国立公園はいくつ？
- 7 400万年前生きていたのは？
- 8 アフリカを襲った災厄で最も古いのは？
- 9 ケニア独立の年は？
- 10 ケニアの初代大統領は？
- 11 いくつの部族が暮らしている？
- 12 信仰している宗教は？
- 13 ケニアの国語は？
- 14 ケニアの識字率は？
- 15 ケニアの一人あたり国民総生産 (GNP) は？
- 16 ケニア最大のスラムの人口は？
- 17 スラムの人の1日の水使用量は？
- 18 5歳までに死亡する子どもの割合は？
- 19 ケニアの人口増加率は？
- 20 ケニアの女性の合計特殊出生率は？
- 21 子どもの死亡原因の1位は肺炎と？
- 22 ケニアの学校制度は？
- 23 ケニアの初等教育の修了率は？
- 24 ケニアの相互扶助の習慣を何と言う？
- 25 アフリカの一人1日あたりのカロリー消費量は先進国の何%？

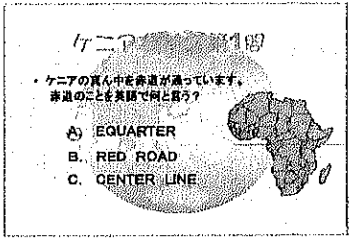
おまけ

- 26 日本へ大量に輸出している植物は？

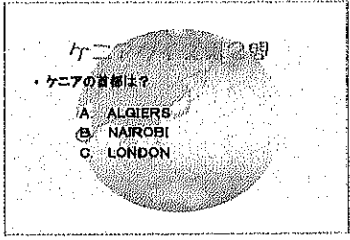
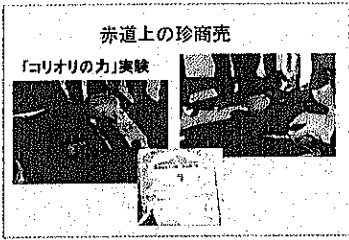
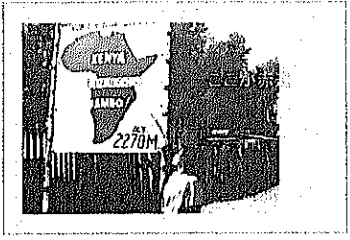
クイズを進行するPower Pointの説明画面（前ページの項目と対応します）



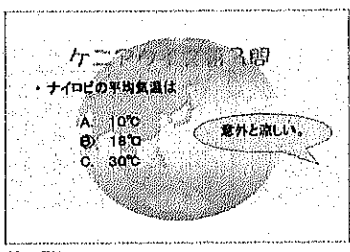
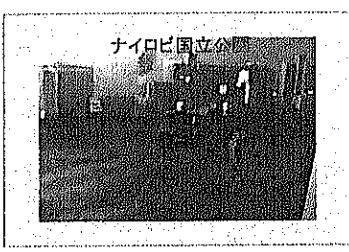
スタート



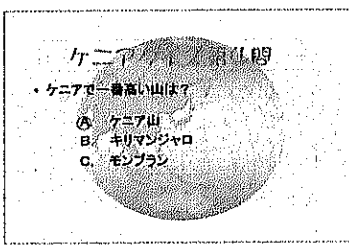
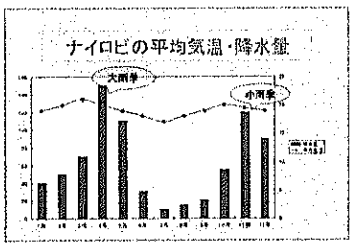
第1問



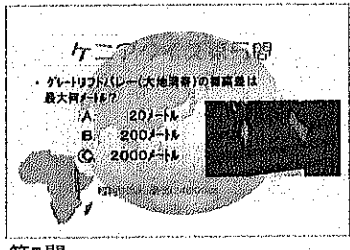
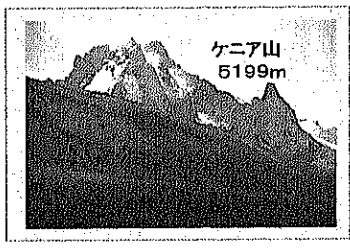
第2問



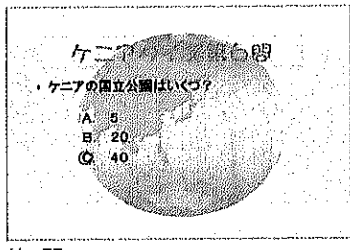
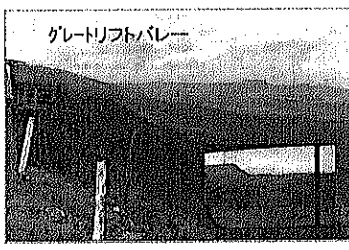
第3問



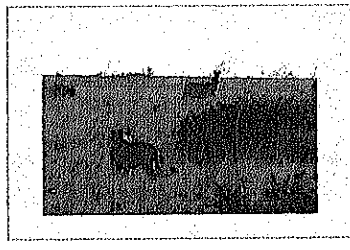
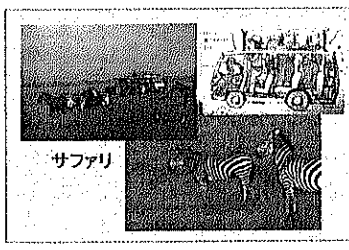
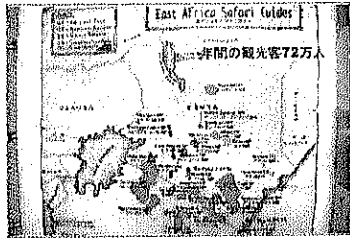
第4問

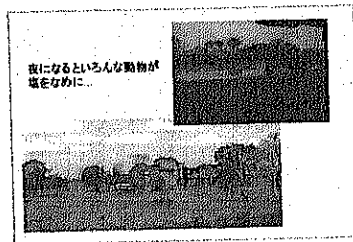


第5問



第6問



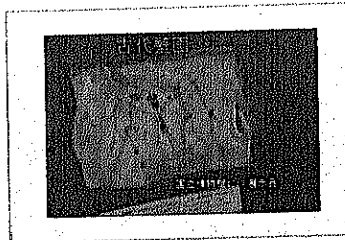
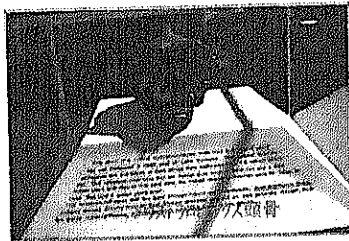


ケニアクイズ第7問

・化石人類、生存していたのは？

アウストラロピテクス	400~100万年前
ホモ・ハビリス	200万年前
ホモ・エレクトス	160万年前
ホモ・サピエンス	大陸の外へ移動 20万年前
(ネアンデルタール人)	10~4万年前

第7問



ケニアクイズ第8問

・アフリカを襲った災厄でもっとも古いのはどれ？

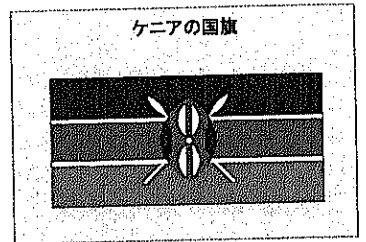
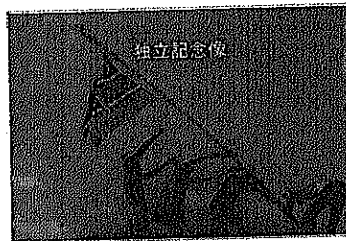
A. 奴隷貿易
B. 植民地化
C. HIV/AIDS
D. 人口爆発

第8問

ケニアクイズ第9問

・ケニアはかつてイギリス領でしたが、
では独立したの日はいつですか？

A. 1963年(昭和38年)
B. 1964年(昭和39年)
C. 1973年(昭和48年)



第9問

ケニアクイズ第10問

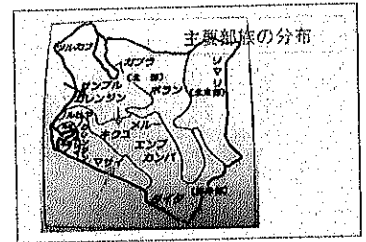
・ケニアの現代大統領の名前は？

A. ウヒド
B. モイ
C. ケニヤツツ

ケニアクイズ第11問

・ケニアの首都ではマサイが有名ですが、
全体的にいくつの部族が暮らしているのでしょうか？

A. 3
B. 21
C. 42



第10問

第11問



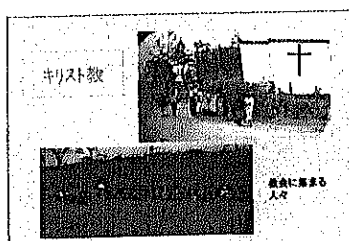
ケニアクイズ第12問

・ケニアの人々の信じる宗教で一番多いのは？

A. 伝統宗教 25%
B. キリスト教 60%
C. イスラム教 14%
D. ヒンドゥー教



第12問



ケニアクイズ第13問

・ケニアの国語は何？

A. スワヒリ語
B. 英語
C. サンズクリット

第13問

ケニアクイズ第14問

・ケニアの識字率(読み書きのできる人)はおおよそどのくらい？

A. 84%
B. 50%
C. 70%

第14問

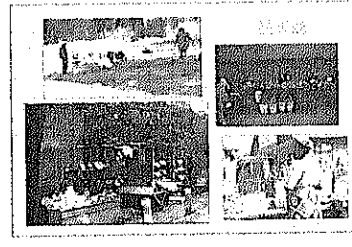
ケニア

・ケニアの一人あたり国民総生産GNPIはいくらでしょう？

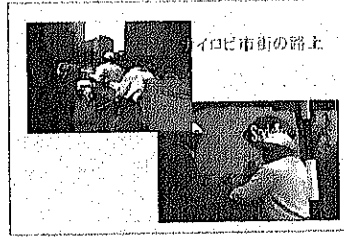
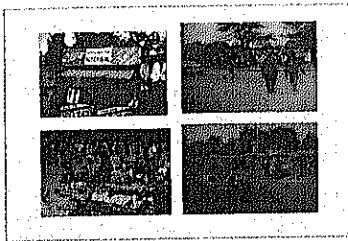
A. 360万円
B. 3600万円
C. 36000万円

日本:32350万円 1998年

実際は 1,600万円と
も。



第15問

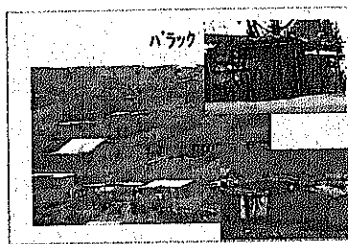


ケニアのライフライン

・ケニアは貧富の差が激しく、いくつかのスラムがあります。ナイロビ近郊の最大のスラムには何人の人が住んでいると言われるでしょう？

A. 4千人 B. 4万人 C. 40万人

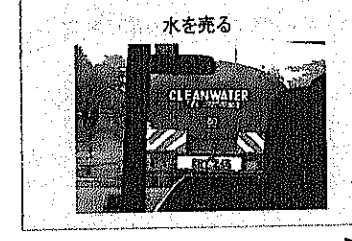
第16問



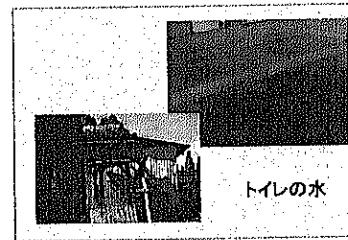
ケニアの水道利用

・ケニアの都市に住む人の1人1日の水の使用量は？
ちなみに日本人は200リットル以上

A. 20リットル
B. 200リットル
C. 2000リットル



第17問



安全な水へのアクセス

水くみの婦人

孤児院の子ども水運び

世界の30%の人は河や池でくみだ水を飲む

ケニアの児童死亡率

・ケニアで生まれた1000人の子どものうち、5歳までに死亡するのはいくら？

A. 4人 B. 44人 C. 117人 D. 316人

日本
フィリピン
ケニア
シネガレホ

第18問

ケニアの人口増加率

・ケニアの人口増加率は？

A. 年3パーセント
B. 年10パーセント
C. 年20パーセント

ケニアの人口増加率

・ケニアの女性一人あたりが生涯に産む子供の数(合計特殊出生率)は？

A. 2人 B. 6人 C. 8人 D. 8人

1993年
1998年

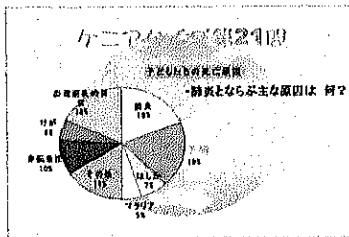
イタリア:1.6人

合計特殊出生率が高いわけ

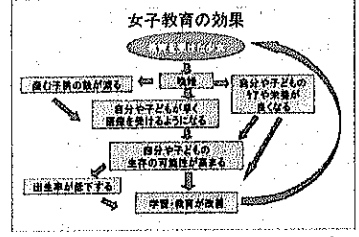
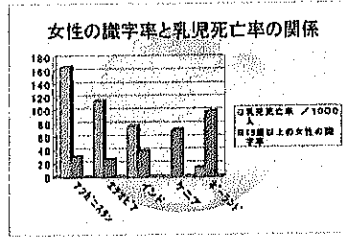
- ・労働力確保のため
- ・親の老後を養うため
- ・死亡率が低いことに関与して
- ・避妊率が低いことにより、望まない出産をする
- ・無教育
- ・早婚

第19問

第20問



第21問



ケニアの学校制度第22問

ケニアの学校制度は次のどれ？

A. 日本と同じ6・3・3・4
 B. 8・4・4
 C. 9・3・4

第22問

ケニアの初等教育第23問

ケニアの初等教育(8年)就学率は約80%。では初等教育の修了率は？

A. 45%
 B. 65%
 C. 80%

第23問



ジョモケニヤッタ農工大学生

大学進学率は2%未満。この人たちは卒業生です。

子供が学校に行けない理由

- 学費が払えない、教材・教科書がない
- 家族のための労働や子守り
- 近くに学校がない
- 栄養不良、病気
- 親が教育に無関心
- 性的差別
- 治安が悪く危険

ケニアの相互扶助の習慣をなんという？

A. ハランベ
 B. ヌーベ
 C. アカンベ

第24問

ケニアの電力第25問

アフリカの1日1人あたりの電力消費量は2170kWh。これは先進国の何%？

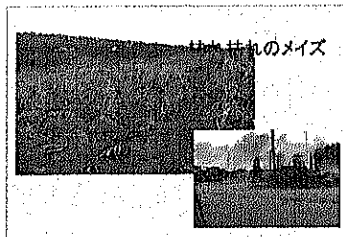
A. 88%
 B. 68%
 C. 108%

第25問



食糧不足の主な原因


- EIAなど異常気象による干ばつ
- 収穫の熟発と長期化
- 農業の軽視
- 人口の急増
- 移動耕作の短期化による地力の低下
- 薪炭材採集、開墾、家畜の過放牧による森林の減少と砂漠化
- 農業技術の低さ、低い農産生産性
- 輸送システムの未熟



ケニアと日本はとっても近い

- 最大の経済国 累計で約3100億円
- ケニアからの留学生が多い
- サハラ以南の国で日本語学習者が最多
- スポーツ、音楽交流が盛ん
- 日本軍が多い
- ナイル/キーツは日本で「白身魚のフライ」に
- 在日日本人約860人

海外協力隊員



専門家の人



- 医療
- 工業・土木技術
- 教育・情報
- 法務・経営
- 文化・スポーツetc




感染症研究所では、肝炎やAIDの検査キットが開発されている



伝統的医療の薬草の効果も試す


知っているかな？

- タワース・ワキウリ選手
- エリック・ウイナイナ選手...日本の実業団で活躍
- 外「ニー・オリジク」女子マラソンのケニア代表 エスタ・ワンジロ選手...仙台育英高校に留学 日本の実業団に



輸出入額

輸入額	32億9500万ドル
輸出額	20億6200万ドル
対日輸入額	1億0508万ドル
対日輸出額	2420万ドル



対日輸入額 対日輸出額

イギリス 日本 中国 韓国 米国 台湾 香港 香港 韓国 中国 台湾 香港

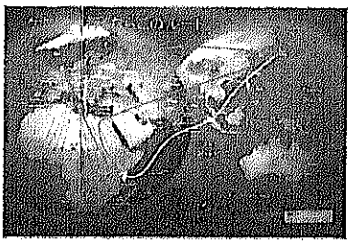
ケニアの主要輸出品

ケニアはコーヒーや紅茶の産地として有名ですが、じつはある植物を大量に日本へ輸出しています。何でしょう？

- 除虫菊
- パイナップル
- トウモロコシ



とっても



第26問

世界年鑑より (日本)

- 人口台数 191000人 708
- 電話加入回線 8/1000人 489-488394
- コンピュータ台数 2.3/1000人 202 3
- 日刊紙発行部数 0/1000人 578
- 平均寿命 男51歳 女53歳 77.4歳
- 労働比率 総78% 工7% サービス14%
- 発電量 37億4700万kWh 9500億0000万
- 1人1年消費量 109kg/人 3963
- 為替レート 119.77ケニアシリング/ドル



アフリカの子供

終了

解決の道を探る

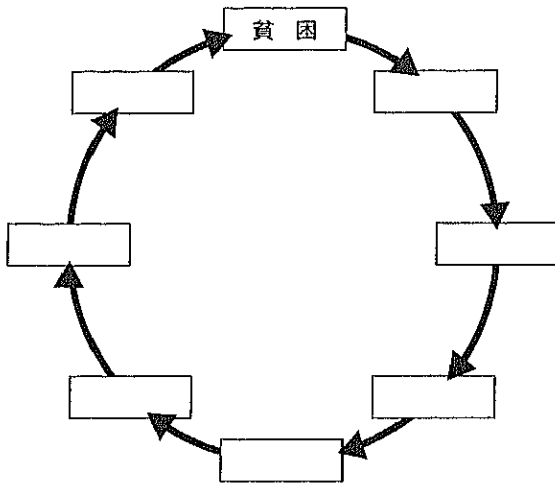
1 まず、「貧困カード」にどんなものがあるか、読みます。

このカードに書かれた問題には因果関係があるので、下の図のように循環図が作れます。

「貧困」のカードを一番上に置いてください。

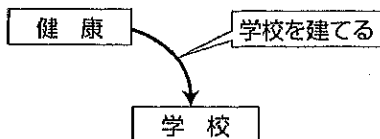
2 グループごとに話し合っ、残り7枚のカードがどのような因果関係でつながっているかを考え、カードを円形に並べて貼ってください。

あなたのグループの「貧困カード」は、どう並べましたか？



3 この環のつながりを断ち切れば、問題は解決に向かいます。自分たちならどこを断ち切りますか？

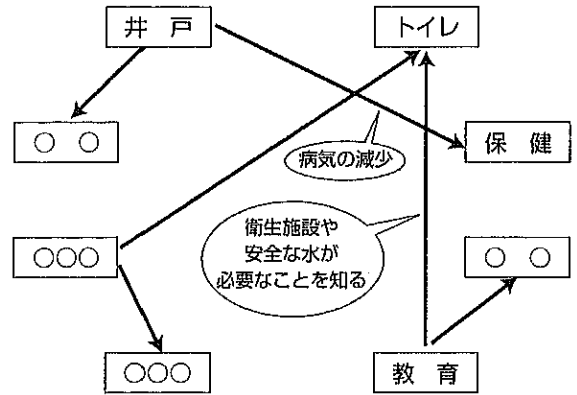
断ち切る場所が決まったら、断ち切るための方法について意見を出し合い、どんな方法を探るかを決めて書き込んでください。対策を下の図のように書いてみましょう。



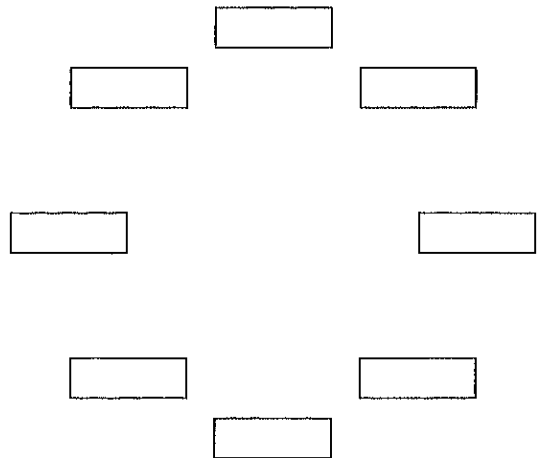
4 ユニセフの「対策カード」は循環図の何処を断ち切ろうとするものか、それぞれのカードを循環図の上に置いてみましょう。

5 一つの対策は、他の活動を促進することがあります。(例えば、教育を受ければ保健の知識が増し、基礎保健事業がやりやすくなるなど)。

対策カードを円形に並べて貼り、一つの対策が他のどの活動を促進するかを考えてカードどうしを矢印でつなぎます。1枚のカードから矢印は何本でも出せます。矢印の横には活動がどのように促進されるかを書いてみてください。



あなたの考えた関係図 説明も付け加えてね!!



貧困カードを考えるための基礎資料

食糧不足の主な原因

- エルニーニョなど異常気象による干魃
- 内戦の勃発と長期化
- 農業の軽視
- 人口の急増
- 移動耕作の短期化による地力の低下
- 薪炭材採集、開墾、家畜の過放牧による森林の減少と砂漠化
- 農業技術の低さ、低い農業生産性
- 輸送システムの未熟

合計特殊出生率が高いわけ



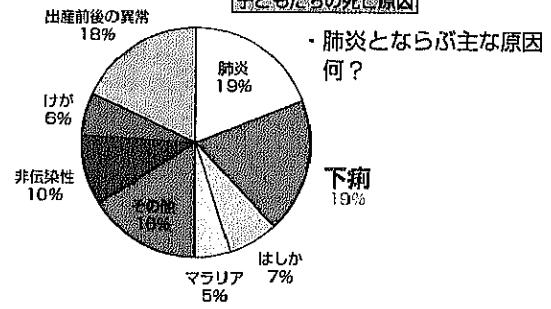
- 労働力確保のため
- 親の老後を託すため
- 死亡率が高いことに備えて
- 避妊具が買えないことから、望まない出産をする
- 無教育
- 早婚

子供が学校に行けない理由

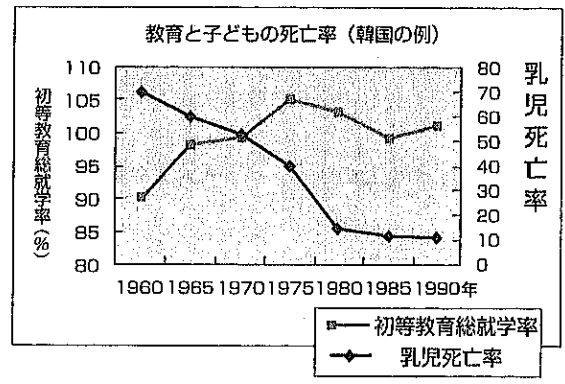
- ◆学費が払えない、教材・教科書がない
- ◆家族のための労働や子守り
- ◆近くに学校がない
- ◆栄養不良、病気
- ◆親がエイズなどで死亡
- ◆親が教育に無関心
- ◆性的差別
- ◆治安が悪く危険



子どもたちの死の原因



女子教育の世代を超える効果

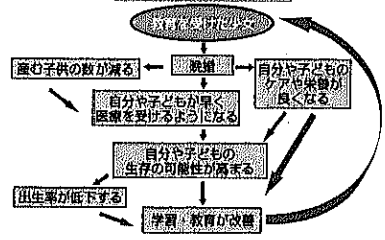


教育を受けた女性の家族は子どもの数が少なく、子どもも健康で、教育を受けなかった女性の子どもよりも、教育を受ける可能性が高まる。
 子どもの死亡率が低下すると行動が変化し、出生率が低下する。
 子ども数が少なくなると子どもを十分にケアすることができ、出生率の低下によって就学年齢の子どもの数が減少する。
 (unicef 「教育1999」より)

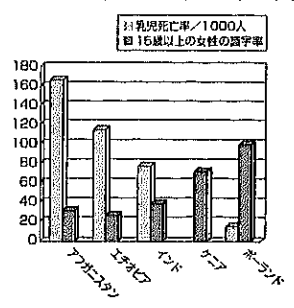
世界年鑑より (日本)

	ケニア	日本
テレビ台数	19/1000人	708
電話加入回線	8/1000人	489・移動304
コンピュータ台数	2.3/1000人	202.4
日刊紙発行部数	9/1000人	578
平均寿命	男51歳 女53歳	77.83
労働比率	農79% 工7% サービス14%	
発電量	37億4700万kW	9899億6500万
エネルギー消費量	109kg/人	3964
為替レート	119.7ケニアシリング/ドル	

女子教育の効果



女性の識字率と乳児死亡率の関係



サントシュ・モロトラ、リチャード・ジョリー編
 「人間の顔をした開発」(1997)
 ケニアの暮らしデータ

参考資料：
 『国々の前進2000』
 『世界子ども白書2000』
 『教育1999』
 『開発のための教育』
 (財)日本ユニセフ協会
 『世界年鑑1999』 共同通信社

わたしはひろがる

岸 武雄

わたしは小さいとき、
おやつのお菓子が弟より大きくないとおこった。
じだんだふんで泣いたこともある。
わたしが世界のすべてであった。
わたしが世界のすべてであった。

やがてわたしは、弟もわたしと同じように、
大きいお菓子をほしがっていることがわかってきた。
わたしはけんかしながらも、
同じように分けることをおぼえた。
ときには、弟があまりうまそうに食べるので、
自分の分も分けてやった。
弟といっしょにお菓子を食べると、
お菓子の分量はへったが、なんとなく楽しい。
こうして、わたしの中へ弟がはいってきた。
こうして、わたしの中へ弟がはいってきた。

(中略)

わたしは理科の勉強をしながら、
大きくなったらすばらしい発明や発見をして、
お金や名誉で身をかざろうと考えていた。
しかし、先生に科学の歴史のお話を聞いてから、
わたしの考えは、だいぶん変わってきた。
つまり、どんなにすばらしい発明や発見をしても、
なかまのしあわせにならねば、
なんにもならないと、考えるようになった。
かのノーベル博士が、
自分の発明したダイナマイトが、
戦争のために使われるのを悲しんで、
人類の平和と文化のために尽した人々におくる、
ノーベル賞をつくった気持ちが、
少しわかったような気がする。
こうして、わたしの中へ、ほんとうの勉強のめあてが
はいってきた。
こうして、わたしの中へ、ほんとうの勉強のめあてが
はいってきた。

わたしは社会科を勉強しながら、
数字やグラフを一生けんめい暗記した。
日本が生産力で世界第何位と聞くと、
ただそれだけで、むねを張って喜んでた。
やがてこうした数字やグラフの背後には、
ひたいに汗して働く人々のいることを考えるように
なった。
こういう人々がすべてしあわせにならねば、
日本の国はいばれないと思うようになった。
こうして、わたしの中へ愛国心がはいってきた。
こうして、わたしの中へ愛国心がはいってきた。

わたしはベトナムの悲しい写真を見ても、
アフリカのあわれな黒人の話を聞いても、
遠い国のできごとのように思って、平気だった。
でも、このごろは、
ベトナム人も黒人も、わたしたちのなかまのように
考える。
ベトナムの写真をみたり、黒人の話を聞くと、
心がうずき、むねがいたむ。
こうして、わたしの中へ、ベトナム人や黒人がはいっ
てきた。
こうして、わたしの中へ、ベトナム人や黒人がはいっ
てきた。

ああ、わたしはたった一人なのに、
むねの中のわたしは、
弟もおかあさんも養護の子も、ベトナム人まで包んで
ひろがる、ひろがる……

『子どもといっしょに読みたい詩』（あゆみ出版）より引用

テーマ4 「学校」

世界の学校から

浜野 隆さん



ケニアの学校の様子

このように大勢の生徒が通学しますが、農村部では...

たかどろきにほかがあるのです。ケニアでは中等学校...



農村部で就学が難しい理由の一つは、通学がとて大変...

この国では、ケニアの教育制度は、小・中・高とあり、...

また、若い世代の多くは農村部にいて、都市に...

この国では、ケニアの教育制度は、小・中・高とあり、...

この国では、ケニアの教育制度は、小・中・高とあり、...

テーマ4 「学校」

ケニアの学校では今



英語とスワヒリ語以外は禁止

ケニアの教育制度は、小・中・高とあり、...

ケニアの教育制度は、小・中・高とあり、...

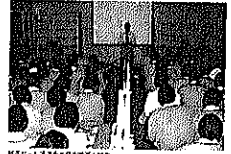
ケニアの教育制度は、小・中・高とあり、...

ケニアの教育制度は、小・中・高とあり、...

ケニアの教育制度は、小・中・高とあり、...

ケニアの教育制度は、小・中・高とあり、...

ケニアでは、毎年、子供たちの健康と安全が...



長期休暇は、1月に3週間、8月に2週間、...

長期休暇は、1月に3週間、8月に2週間、...

長期休暇は、1月に3週間、8月に2週間、...

長期休暇は、1月に3週間、8月に2週間、...

「国際協力」基本事項

ODA

- 政府開発援助 (Official Development Assistance)
1. 2国間贈与 (無償資金協力・技術援助) 返済義務なし。
2. 2国間貸与 (有償資金協力) 円借款とも言う。
3. 国際機関への出資。拠出。

日本の実績

- 1954年開始。
1991~1998年 金額で世界第1位
1999年度予算 1兆489億円

JICA

国際協力事業団 (Japan International Cooperation Agency)

ODAで行う国際協力活動を実際に運営するための組織。
技術協力や無償資金協力の調査や実施促進の仕事を行う。
技術協力では、研修員の受け入れや専門家の派遣、調査団の派遣、青年海外協力隊の派遣、機材供与などを行う。主に人材を育てることを基本的な活動としている。

国際協力・援助を何故行っているのか

日本もかつて被援助国であった！
第2次世界大戦後の復興は、諸外国からの援助によ

るところが大きい。たとえば、

- 1. ガリオア資金 (アメリカより 約20億ドル) ...薬品や食料輸入
2. エロア資金 (アメリカより) ...工業原料の輸入
3. ララ物資 (NGO提供) ...学校給食など
4. WHO・UNICEF援助...薬品、注射
5. IBRD (国際復興開発銀行、世界銀行) 借款 ...東海道新幹線、名神高速、首都高速、黒四ダムなどの建設資金
1990年に返済完了。

人道的理由

紛争国や開発途上国の、困難で悲惨な状況を黙って見ているわけには行かない。
貧困国の病氣や飢餓、安全な水へのアクセス、失業、人口問題など放置してはいけない。
富の再配分が必要。

国際社会の一員として

日本の経済は世界の国々と互いに依存しているなかで成り立っている。日本の輸入額の半分以上を、開発途上国からのもので占める。また、輸出相手国としても日本と友好的な関係を保つ必要がある。

他国の戦争・紛争と無関係ではいられない。ケニアなども近隣の国々の紛争で難民が流入し、一気に経済状態が悪化し、治安の悪化も招いた。貧困国の政情不安を収め、平和を保つ必要がある。